

平成30年度の教育目標と 教育長・教育委員からお伝えしたいこと

磐田市教育委員会の目標

「ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民」

「子育て、教育なら磐田」と誰もが実感できるまちづくりを下記のとおり目指します。

かけがえのない命を精一杯生き、ふるさとの先人たちが築きあげた磐田の大地に根を張った人づくりの精神と伝統文化を未来へ継承し、生涯にわたり社会を生き抜く力を育成します。

さらに、学校・地域・家庭の連携・融合による学府を核とした新時代の教育コミュニティを形成し、次代の社会をつくる学びの場を創造します。

本市の未来をひらく礎となる基本理念「教育大綱」へは、「[磐田の教育]道しるべ」と、子どもたちの成長を育む「磐田市こども憲章」により進むべき方向が示されています。学校・地域・家庭への浸透を目指します。



- 「磐田の教育」道しるべ
- 一、かけがえのない命を精一杯生きること
 - 一、自分のよさを誇りとし自信をもって行動すること
 - 一、美しい立ち居振る舞いと温かな言葉づかいをすること
 - 一、勤労・勤勉を喜びとすること
 - 一、真善美に照らし正しい判断をすること
 - 一、大志を抱き困難を乗り越えること
 - 一、敬愛の心を持ち家族を大切にすること
 - 一、感謝の気持ちは「ありがとう」と素直に伝えること
 - 一、年長者を敬い年少者を慈しむこと
 - 一、寛大な心をもって人を愛し許すこと
 - 一、郷土愛をもって伝統文化の継承を行うこと
 - 一、宇宙・自然への畏敬の念をもつこと

平成二十六年三月策定



新しい時代を迎えます。我々の生活にAIが深くかわり、身の回りのいろいろなものが変化していきます。例えば、人と会話をする機会が減少し、人間関係が希薄化することが予想されます。そんな中で、今、人と人のつながりやかかわりを大切に、地域や学校で、子どもたちの心を育てることが、何よりも重要になってきます。授業を大切にした学力保障はもとより、ふるさとを愛する優しさ、未来をひらく強さ、豊かで愛情溢れる心育てることを求めていきます。



磐田市は、すばらしい歴史や文化、伝統をもとに、スポーツの街の特徴を活かして、学府一体校づくりを展開しています。上級生への憧憬や下級生への慈しみの心もちやすくなり、そして、自分自身を振り返り、将来を描く力が身に付きます。さらに、地域とのつながりを深めることで「教育環境の向上」を図り、学校のチーム力を高め、将来へと繋げていきます。

未来に向けて、日本の教育、磐田の教育に必要なものは、単なる知識の伝達のみではなく、一人ひとりが、磐田市のすばらしい地域性、すばらしい人間性を経験的に獲得することであり、これにより2100年を創造することができます。

磐田市教育長 村松啓至

平成30年度磐田市教育委員会の計画体系と主要な事業

教育委員会の目標

「ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民」

方針1 子どもの「生きる力」を育みます。

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成し、「生きる力」を育む、魅力ある園(教育・保育施設)・学校づくりを推進することを目指します。

また、「生きる力」を育むため、一人一人の個性を活かし、「個」に応じたきめ細やかな教育指導ができるような環境づくりを目指します。

方針2 子どもの成長を支える「地域力」をさらに活用します。

磐田市の豊かな自然・歴史・文化などの学習資源を活かし、ふるさとへの誇りと愛情をもつ子どもを地域全体で育てていくための地域づくりを目指します。

また、子どもの読書環境を充実させ、生涯にわたって読書を楽しむための読書習慣を身に付けることを目指します。

方針3 市民が活用しやすい「学びの場や環境」を整備します。

子どもが安心して学べるよう、学校施設の安全を保ち、経済的な理由から就園・就学が困難であったり、特別に支援が必要な子どもの保護者への援助を行います。

また、市民が活用しやすく、主体的に学べるように図書館サービスの向上、歴史遺産の整備活用や歴史文書館における公文書の適切な管理を目指します。

施策1 魅力ある園・学校づくりの推進

小中一貫教育、コミュニティ・スクール、ICT教育、学府一体校等新時代の新たな学校づくり、食育及び安全安心な学校給食、食物アレルギー対応、園や小・中学校の子ども及び教職員の交流、新幼稚園教育要領等実施に伴う幼稚園教諭等の資質向上支援

施策2 「個」に応じたきめ細やかな支援・指導の充実

スクールソーシャルワーカー、LD等通級指導教室、不登校等対応、要保護児童等対策協議会(子育て支援課所管)、関係機関(医療機関等)との連携

施策1 地域の学習資源を活かした教育活動の推進

ジュピロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦、ジュピロ学校訪問

施策2 子どもを健やかに育む地域づくり

放課後児童クラブ、人権教育講演会、人権教室

施策3 家庭、地域、園・学校における読書活動の推進

「子育て支援・相談機能」と「図書館機能」が融合した「磐田市ひと・ほんの庭 にこっこ」との連携

施策1 学校施設などの安全・充実

小中学校体育館の照明器具LED化、教室照明器具落下防止対策、公立園の再編・再築〔(仮称)中泉こども園建設・こども園化・一部公立園の民営化公募〕

施策2 就園・就学のための経済的支援

就学援助費、特別支援教育就学奨励費、私立幼稚園就園奨励費、私立幼稚園運営費補助

施策3 図書館サービスの向上

図書館資料の充実及び地域資料のデジタル化、電子書籍サービスの推進

施策4 歴史遺産の整備・活用

文化財の調査・保存・整備・活用、伝統行事の継承支援

施策5 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の環境整備

交流センター講座、磐田スポーツ部活の運営、ラグビーワールドカップ・オリンピック等の機運醸成活動

教育委員からのメッセージ

磐田の子どもたちがどのように育ってほしいかと言えば、「思いやりのある人に」であります。それには、相手の身になって考えることを心がけることが大切です。

かつて、こんな光景を目にしました。友達らしい子ども二人が雨の中を、一人は傘をさし、もう一人は全身濡れながら歩いていました。体半分でも傘に入れてあげる子どもを育てたいと思います。

教育委員 青島 美子

磐田の教育目標の一つに“ふるさと”の大切を挙げています。私達が住むこのふるさとは、父や母そして先人達の思いがあり、近所隣りのおじさんやおばさんの優しさがあります。「ふるさと」は、人間としての自然や社会的連携の交差する中心に立っている自分(アイデンティティー)を、即ち大地に根ざした「生存の基盤」に今在る事を、教え自覚させてくれます。

教育委員 杉本 憲司

世の中のグローバル化と共にモノのインターネット(IoT)や人工知能(AI)等の技術は今後も進み、益々便利な時代が訪れると思います。しかし、先人の残した足跡に触れ、自然との対話の中で様々な経験をし、周りとのコミュニケーションを図り、知識だけではなく知恵を付け、生きる力を育んでいくことが大切なことと思います。

教育委員 秋元 富敏



磐田の子どもたちには、環境や時代の変化により、どのような社会になろうとも、一度しかない人生をしなやかでたくましく生き抜く力を身に付けてほしいと思います。

我々大人が、家庭や学校、地域において子どもを愛情深く見守ることは、子どもにとって、愛されて育ったという安心感が自信となり、困難に打ち勝つための糧となることでしょう。

教育委員 鈴木 好美

磐田市教育委員会から皆様へ これまでしてきたこと、していること、これからのこと (平成30年4月現在)

1. これまでに進めてきた主な事業

(1) 教育施策と学校教育

- ①「磐田の教育」道しるべの策定(H25)
- ②全小中学校の校舎耐震化が完了(H26)
- ③学校校舎屋上への津波避難階段の設置
(H24福田中・豊浜小・竜洋東小)
- ④磐田北小学校プール施設の改築(H29)
- ⑤放課後児童クラブの利用対象を全学年に拡大(H27)
- ⑥放課後児童クラブの施設拡充(H26～29で定員約650人増)
- ⑦ながふし学府一体校整備基本構想(H28)・基本設計(H29)
- ⑧磐田市アレルギー対応の手引きの作成(H29)
- ⑨小1～中3までの「英語」モデルカリキュラム作成(H25)
- ⑩小中学校への「ふるさと先生」の配置 《市費負担教員による磐田式35人学級の実現》(H17)
- ⑪小中一貫教育を全10学府(中学校区)で実施(H24～段階的に実施)
- ⑫全小中学校をコミュニティ・スクールに指定(H27)
《H29は、4人の学府ディレクターと12人のコーディネーターにより地域と共にある学校を推進》
- ⑬「ふるさと礎プラン」 《校長OB4人による若手教員へのサポート体制の構築》
- ⑭校務支援ソフト(指導要録、通信票、出席簿等)の導入(H24)



磐田北小学校プール施設の改築

※将来を担う子どもたちのために市全体で取り組む事業

- ①ジュピロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦
《郷土への誇りを 小学校5、6年生約3,200人の大声援》
- ②広島平和記念式典への小中学生派遣
- ③中学生海外派遣事業
- ④家庭教育と青少年支援の充実



ジュピロ磐田小学生一斉観戦

(2) 図書館と文化財

- ①ブックスタート事業・茶の間ひととき読書活動
《乳幼児期からの子どもの読書推進》
- ②デジタルデータベース閲覧サービス提供(国立国会図書館、法律情報、新聞記事)
県立図書館資料受取サービス開始《さまざまなデータベースや資料を利用しやすく》(H27)
- ③電子図書館・利用者個人による履歴情報の保存等 《新たなサービスの提供》(H28)
- ④旧見付学校消防施設(放水銃など)の改修(H28)
- ⑤遠江国分寺跡整備基本計画の策定(H28)、基本設計及び
発掘調査(H29)
- ⑥開発事業(遠州豊田PA南地区、区画整理事業や道路改良事業)に伴う遺跡の発掘調査
- ⑦文化財・民俗資料等保存活用啓発事業
(訪問歴史教室や施設見学・講座の開催)
- ⑧福田町史(通史編)の刊行(H27)



遠江国分寺跡の整備に伴う発掘調査

2. 現在進めている主な事業

(1) 教育施策と学校教育

- ① 学府バスの運行拡充 《小中一貫教育のさらなる推進のため、学府バス7台を運行》(H29～)
- ② 小中学校の防災機能(外壁改修・照明器具落下防止)強化(H26～30)
- ③ 小中学校のパソコン室や図書室へのエアコン設置(H29に全校一台以上の設置が完了)
- ④ 小中学校体育館照明のLED化(H30～31)
- ⑤ ながふじ学府一体校整備実施設計(H30)
- ⑥ 大型モニターの導入 《小中学校全学級へ導入》(H29～32)
- ⑦ スクールソーシャルワーカーの配置
- ⑧ LD等通級指導教室の拡充
- ⑨ 市費負担教員の配置による小中一貫教育の推進と生徒指導の充実
- ⑩ S.P.E.A.Kプロジェクト 《中学3年生全員を対象に、市ALTが民間の外部試験に代わり、英会話の力を調査》
- ⑪ 教育支援員の配置 《子どもへのきめ細やかな支援を充実》(H29は87人)
- ⑫ ソロバン学習・道徳・食育学習の実施 《専門性の高い外部講師と協力し授業》
- ⑬ 食物アレルギー対応の拡大(H24～段階的に実施) 《幼稚園・こども園 9月から開始》



教室への大型モニターの導入

(2) 図書館と文化財

- ① 電子図書館の活用等による図書館機能の充実
- ② 子育て支援・相談機能と図書館機能が融合した「磐田市ひと・ほんの庭 にこっと」との連携
- ③ 図書館ボランティア(読み聞かせ、視覚障害者サービス)の育成・登録
- ④ 中央図書館へのWi-Fiの設置
- ⑤ 指定文化財保存事業(阿多古山一里塚保存整備等)
- ⑥ 歴史文書館企画展等のイベントの開催、所蔵資料のデジタル化・マイクロフィルム化
- ⑦ 遠江国分寺跡の整備(木製基壇や灯籠の復元、トイレやあずまやの建設に向けての調整)



「磐田市ひと・ほんの庭 にこっと」(イメージ)

3. これからの課題

- ① 学府一体校の推進と9年間の新カリキュラムの研究

未来型学府一体校(A型)



☆各学府にある小学校と中学校をすべて、施設一体型として一つの敷地に設置するもの

向上型学府一体校(B型)



☆学府内に施設一体型の小中学校と既存施設で運営する小学校が存在するもの

充実型学府一体校(C型)



☆現在行われているように、既存施設のまま小中一貫教育を推進し、社会教育施設を含むもの

- ② 老朽化が進む学校施設の更新・長寿命化計画の策定
- ③ 図書館資料の充実と適切な更新、中高生年代の図書館利用の拡大
- ④ 文化財関連施設・史跡等の適切な維持管理と利活用の推進
- ⑤ 学校給食施設のあり方の検討
- ⑥ いじめ・不登校・児童虐待など、学校安全調査等を利用した積極的対応

⇒ 子ども一人ひとりの「いのち」を大切にしていきます。

編集／磐田市教育委員会
教育総務課 総務グループ
〒438-8650 静岡県磐田市国府台3-1
TEL.0538-37-4821 FAX.0538-36-1517
kyoikusomu@city.iwata.lg.jp
発行／平成30年4月